

～ 湘北地区の人口・世帯数 ～

地域	人口	世帯数
鶴が台一街区含む	4,885(-134)	2,475(+1)
香川	11,642(+6)	4,551(+50)
松風台	1,516(+36)	593(+14)
甘沼	5,305(-65)	1,998(-11)
みずき	3,108(+79)	1,086(+26)
湘北地区	26,456(-78)	10,703(+80)
茅ヶ崎市	236,758(+477)	95,626(+907)

・世帯:2013年2月1日現在 [()内は対前年比]



発行日 2013年 3月 1日
第40号
 発行者 湘北地区社会福祉協議会
 会長 吉田 正一
 発行部数 9,000部

『湘北』は、毎年10月と3月に発行しております。

「湘北地区社会福祉協議会 (湘北地区社協)」は、湘北地区住民の福祉を進める社会福祉団体です。

続いて訪れたのは、「ライフ湘南」です。先に見学した施設と同じ、社会福祉法人光友会が運営をしています。主に知的障害者の方の作業を提供して



熱心に生地をこねる様子

湘北地区社会福祉協議会では二月二日(火曜日)に会員二十六名と市社協湘北地区担当職員一名の参加のもと三ヶ所の視察研修を実施致しました。最初の訪問先は、藤沢市瀬郷にある「湘南ふくし村」です。ここは複合施設となっていて、その中の一つである「神奈川ワークショップ」を見学させて頂きました。主に身体障害者で、一般就労意欲がある方や、就業する事が困難な方等の支援を提供していて、通所可能な約七十名の方が、点字出版、印刷、製パン、軽作業、農作業等を行っています。職員さんの案内で作業の様子を見せて頂きましたが、皆熱心に作業をされている姿が印象的でした。中でも製パンは職人さんのような手つきで生地をこね回し、心のこもったおいしいパンが焼けるのは、食べるまでもなく想像が出来ました。また、農業現場では無農薬野菜を栽培している耕運機を使って楽しそうに働いている姿が目に残りました。しかしながら一般就労の実現は厳しく、通所して三十年の歳月が経ち、六十歳を過ぎた方もいらつしやるとの事で、七十名の中から年に一、二名がやっとながら現状の様です。

湘北地区社協研修会報告

3カ所の施設見学で知見を広げる

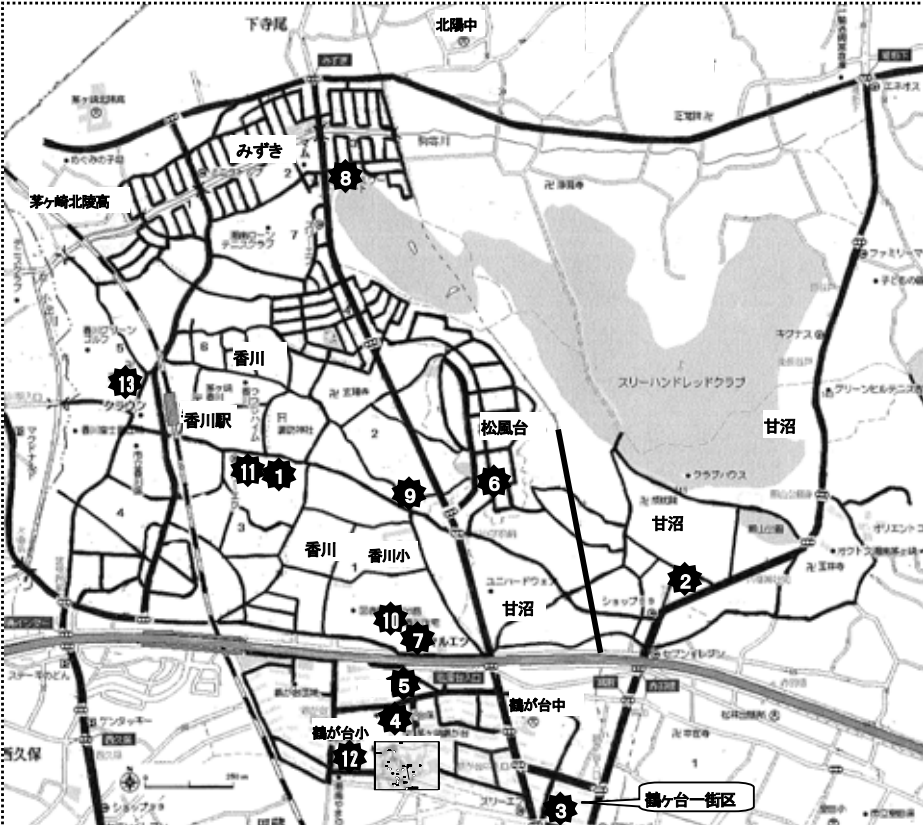
て、製パン、製麺、豆腐、清掃作業等の他、住宅地の立地を活かして喫茶店を併設しています。昼食はこちらでお弁当を用意して頂きましたが、品数が多くボリューム満点でした。一般の方も何名かいらつしやっていたので、地域に溶け込んでいる様子が伺えました。

最後の訪問先となったのは、「寒川広域リサイクルセンター」です。こちらは、稼動してまだ一年経たない真新しい施設で、資源循環型の社会を目指して資源ゴミのリサイクルをしています。ここでは障害者の方が二名作業されていて、スプレー缶の穴あけ作業や、ラインに流れてくる資源物から異物を取除く作業をしている様子を間近で見ることが出来ました。私達は普段、分別してゴミを出しているにも関わらず、ブラのラインに、ぬいぐるみや生ゴミが流れるなど、異物の混入が非常に多いのには驚きました。

視察研修を終えて感じた事は、就労意欲を持った障害者はたくさんいますが、工賃(賃金)が非常に安いという事です。もちろん、能力に応じてなのでは一概には言えませんが、厚生労働省により福祉的な就労の底上げを推進している中で、月額の平均賃金は一万三千円程度です。今回訪問した「神奈川ワークショップ」は、平均を上回る三万円程度だそうですが、身近な福祉施設で何をしているのか興味を持ち、積極的に利用する事で工賃のアップに繋がれば良いと思えました。近いうちには是非また訪問してみたいと思います。



リサイクルセンターを視察



湘北地区自治会館/集会場マップ	
① 香川自治会館	・香川おたのみし会 ・香川ふれあいサロン ・子育てサロンにこここサークル
② 甘沼自治会館	・甘沼ふれあいの会 ・甘沼サロン ・甘沼子育てサロンスウィートポテト
③ 鶴が台一街区集会場	・ほほえみサロン
④ 鶴が台団地第1集会所	・すこやかサロン ・Eラウンジ「シニアサロン」
⑤ 鶴が台団地第2集会所	
⑥ 松風台自治会館	・松の実会 ・ほっとサロン ・歌の街 ・松風台子育てサロンまつぼっくり
⑦ ライトタウン茅ヶ崎集会所	
⑧ みずきコミュニティハウス	・カフェみずき ・みずき子育てサロンみずきッズ
⑨ 湘北地区ボランティアセンター	・コミュニティサロン
⑩ 茅ヶ崎市立香川公民館私立図書館香川分館	・湘北とものわ ・グループふわふわ
⑪ 地域包括支援センターあかね	・高齢者の保健・福祉・介護等に関する総合的な相談窓口
⑫ 鶴が台小学校多目的室	・たんぽぽの会 ・水曜サロン(ひまわりの会) ・きらきらぼし子育て応援する会
⑬ コミュニティー香川	・ボランティア香川 生活支援活動、サロン、ミニデイ

湘北地区社協

分科会活動報告とお知らせ

地域福祉を 考える懇談会

大盛況の第四回「まち探検」

昨年度は甘沼地区で今年度は十二月九日(日曜日)十時に「松風台地区のまち探検」が松風台バス停横の南公園に百名を超える方々が集まり行われました。

寒中でも日差しに恵まれ自治会員・社協役員・幼児を連れたご一家を含めた松風台住民・鶴が台中学生達・市の保健福祉課職員・市社協職員・包括支援センター「あかね」職員・地区ボランティアセンタースタッフ・らいふ香川利用者・グループホーム下宿屋利用者・ボランティア香川利用者・居宅介護相談所「結」職員・PCグランマ利用者・みずき・甘沼・香川・鶴が台・鶴が台・ライフタウンの住民達が集まったのでした。

ABCの三コースに別れ一時間を掛けて車椅子に乗った場合、ベビーカーを押した場合、高齢者の歩行の場合などの、安全を念頭に松風台内の道路を見て回りました。十一時に香川公民館講義室に集まって、ABCの各コース毎にテーブルを囲み気づいた所を模造紙に書き出しました。

発表は昨年大好評だった台中生の担当です。マイクを持って話合いの結



発表する中学生

果をてきばきと発表して大きな拍手を浴びました。お昼は調理室で準備された美味しいなり寿司、おむすび、豚汁と漬け物が届き部屋中に話の輪が広がりました。

地区社協の中に「地域福祉を考える懇談会」を設け活動を始めて七年目になります。地域の福祉関係諸団体と活動の情報交換・交流を行う中で、身近な地域福祉の課題を考え、取り組みの方向を検討しようとして始めたものです。その中で自分たちの住む湘北地区を歩きながら福祉の目から課題を発見する「まち探検」が企画され、今年は四回目でした。

懇談会では、これからまち探検のまとめを行うこととあわせ、地域のサロン活動などの一覧表の見直し版を作る計画です。またその他の課題についても意見交換をし、湘北地区社協への提言をまとめる予定です。(佐川)

公民館まつりに バザー出店

十月二十六日(二十八日の三日間茅ヶ崎市香川公民館まつりが開催され、湘北地区社協も中日の十月二十七日(土曜日)に出店しました。

当日は朝七時三十分より材料等を搬入し、部会メンバー二十名の協力のもと、調理、販売等一致協力して、カレ



綿菓子を販売するスタッフ

ーライス、水飴せんべい、綿菓子、ウーロン茶、コーヒ、スナックパン等を販売しました。
ご協力をいただいた部会の方々、販売品をご購入頂いた地域の皆様方に、この紙面をお借りして心よりお礼申し上げます。(長谷川)

健康・福祉講座

昨年平成二十四年九月十五日(土曜日)に第一回のテーマは「食品の安全・安心を脅かす出来事」農業等についてでしたが、神奈川県衛生研究所の甲斐茂美先生に講演して頂きました。

食品残留農薬濃度を衛生研究所は、精密に検査しているようで、食品のカビ、毒の恐ろしさ等聞いてますと、毎日のスーパーなどの買物も、良く注意して食品を選んで買物するようにするのがいいかと思うように、参加された方々は、参考になりましたと帰られました。やはり不安な生活を送るよりも、確かな情報を聞いて安心な日々を送るほうが良いと言われて、講座を開催して良かったと思えました。



次回は左記のように開催しますので、又大勢のご参加お待ちしております。
(香澤)

テーマ：食の安全・安心と放射能について
日時：平成二十五年三月十四日(木曜日) 十三時三〇分～十五時三〇分
講師：林孝子先生(神奈川県衛生研究所)
場所：香川公民館 集会室(大)
*託児所のご用意も御座います

ボランティア 入門講座

第六回「ボランティア」

入門講座の成果

市内の地区社協でボランティア入門講座を開催しているのは湘北地区社協

だけです。今年で六回目を迎えました。毎年十一月に四日間のプログラムを組み、香川公民館の会議室で実施しています。四日間の内容は「湘北」三十九号をご覧下さい。

毎年受講者が少ない傾向でしたが今年には十八名の応募があり、中にはボランティアについて学んでみたいと思っていたという意欲的な方が参加されて、教室の雰囲気も明るく牧岡先生のお話に熱心に耳を傾けていらつしやいました。私達が地域で暮らすということは同じ生活圏で顔が見えて挨拶を交わし、声をかけられること、そして仲間をつくらせて知り合いの層を広げていけること、これは生きていく上で素晴らしいことです。日常のネットワークから助け合いのネットワークとなって地域に根ざしていくこと、こうした風をつくらせていくのがボランティア活動そのものですと話されました。受講生の反応はというと「この講座を受けるまではボランティア活動というものは私にとって縁遠いものと思っていました。今回のお話を聞き、意識が変わりました。また人と人とのつながりの大切さ重要さがよくわかり、今自分がしていることが自分の為であり人の為になっている」ということがうれいでした。」と感想をもらして下さいました。

一日目の牧岡先生の講義 前述したようなやる気をおこさせる楽しいお話でした。

二日目の体験学習では目が不自由になつた時の苦痛や支援のしかたを亲身体験したり、身体が不自由になり車椅子生活になった時の不便さや支え方は実際に街中の道路に出て体験したり、高齢者になり身体中の動きが鈍くなった時の体験等々、すべて経験して初めて知っておどろきと感動が誰からともなく口からとび出し共感していました。

三日目は地域で活動している団体やボランティアの人達の話でしたから、身近なところではじめて知りましたという感想がありました。

四日目はグループワークで皆和気あいあいでは何ができそうか、やって

みたいかを書き出して楽しい時間でした。

十二名の四日間修了者があり、一人一人吉田会長から修了証が渡され満足そうな笑顔が印象的でした。一人一人積極的な感想を残して講座は終了しましたが、全部を紹介できないのが残念ですがホームページでご覧下さい。



街中の道路に出て
車椅子を体験する受講生

二ヶ月後に修了者全員に今何かボランティアに参加しているかどうか電話でお聞きしましたところ、
・地域でボランティア活動に参加している八名(六六、七〇%)
・農業の手伝い一名(八、三三%)
・連絡つかず二名(二六、七〇%)
・何もしていない一名(八、三三%)以上でした。

受講後六六%以上に実際にボランティアに参加していることに深い感謝の意を表したいと思います。(有正)

長谷川泉太郎様に感謝状

平成二十四年十二月二十二日(土曜日)、茅ヶ崎市民文化会館で行われた茅ヶ崎市民社会福祉大会において、地域福祉活動に貢献された功績により、湘北地区社会福祉協議会会計の長谷川様に感謝状が贈られました。

編集委員

- 宮村茂樹(みずき)
- 中山七恵(香川)
- 田井耕一(甘沼)
- 衛藤正視(甘沼)
- 前出郁子(甘沼)
- 行正龍昭(松風台)
- 井上和子(鶴が台)
- 小川自子(鶴が台)
- 石亀利花(ライク)
- 佐藤幸雄(みずき)